

I 教育研究組織

(表1) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2016年4月1日現在)

	学部等の名称	学科等の名称	開設年月日	所在地	備考	
学士課程	医療保健学部	看護学科	2005年4月1日	東京都品川区東五反田4-1-17		
	同上	医療栄養学科	2005年4月1日	東京都世田谷区世田谷3-11-3		
	同上	医療情報学科	2005年4月1日	同上		
	東が丘・立川看護学部	看護学科	2010年4月1日	東京都目黒区東が丘2-5-1	2014年4月学部名変更	
博士課程	大学院研究科等の名称	専攻等の名称	開設年月日	所在地	基礎となる学部等	備考
	医療保健学研究科	医療保健学専攻〈修士課程〉	2007年4月1日	東京都品川区東五反田4-1-17	医療保健学部	
	同上	医療保健学専攻〈博士課程〉	2009年4月1日	同上	同上	
	看護学研究科	看護学専攻〈修士課程〉	2010年4月1日	東京都目黒区東が丘2-5-1	東が丘・立川看護学部	
	同上	看護学専攻〈博士課程〉	2014年4月1日	同上	同上	
学位課程	大学院研究科等の名称	専攻等の名称	開設年月日	所在地	基礎となる学部等	備考
専攻科・ 別科	別科・専攻科等の名称		開設年月日	所在地	備考	
	助産学専攻科		2009年4月1日	東京都品川区東五反田4-1-17		
その他	附置研究所・附属病院等の名称		開設年月日	所在地	備考	
	国際交流センター		2012年4月1日	東京都品川区東五反田4-1-17		
	感染制御学研究センター		2012年4月1日	東京都品川区東五反田4-1-17		
	メディテーションセンター		2013年7月17日	東京都台東区浅草橋3-21-7		

- [注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載してください（通信教育課程を含む）。
- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織や、附置研究所、附属病院等がある場合には、「その他」の欄に記載してください。
- 3 学生募集を停止している学部・学科等はその名称を（ ）で括り、備考欄に募集停止した年度を記入してください。
- 4 大学院研究科・専攻については、基礎となる学部・学科等の名称を、「基礎となる学部」欄に記入してください。

II 教員組織

(表2) 全学の教員組織

(2016年5月1日現在)

学部・学科等		専任教員数								助手	設置基準上 必要専任教員数	専任教員1人 あたりの 在籍学生数 (表4(B)/計(A))	兼任 教員 数	備 考			
		教授		准教授		講師		助教							計(A)		
		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)							特任等 (内数)		うち 教授数
医療保健学部	看護学科	8		10		11		11		40		3	12	6	11.0	75	例：TA○人
	医療栄養学科	6		8		3		1		18		5	9	5	23.7		
	医療情報学科	4		2		1		5		12		3	8	4	23.5		
医療保健学部 計		18	0	20	0	15	0	17	0	70	0	11	29	15	16.4		
東が丘・立川看護学部	看護学科	10		16		15		11		52		18	15	8	14.5	73	例：薬学部6年制 実務家専任教員○人
東が丘・立川看護学部 計		10	0	16	0	15	0	11	0	52	0	18	15	8	14.5		
(その他の学部教育担当組織) 大学全体の収容定員に応じ 定める専任教員数													21	11			
助産学専攻科		0		0		1		2		3		1	3	0		26	
合 計		28	0	36	0	31	0	30	0	125	0	30	68	34			
研究科・専攻		専任教員数				助手	設置基準上 必要専任教員数			兼任 教員 数	備 考						
		研究指導教員数		研究指導 補助教員	計		研究指導教員数		研究指導 補助教員								
		うち 教授数					うち 教授数										
医療保健学研究科	医療保健学専攻(博士前期課程)	20	20	17	37	0	8	5	8	35							
	医療保健学専攻(博士後期課程)	18	18	0	18	0	6	4	6								
医療保健学研究科 計		38	38	17	55	0	14	9	14	(35)							
看護学研究科	看護学専攻(博士前期課程)	24	6	5	29	0	6	4	6								
	看護学専攻(博士後期課程)	11	5	2	13	0	6	4	6								
看護学研究科 計		35	11	7	42	0	12	8	12	(102)							
合 計		73	49	24	97	0	26	17	26								

専門職大学院		専任教員数										助手	設置基準上 必要専任 教員数	専任教員に 占める教授 の比率(%)	専任教員 に占める 実務家教員 の比率 (%)	備考
		教授		准教授		講師		助教		計(A)						
		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)						
○○研究科 ○○専攻	専任教員												/	/	/	
	専任(兼担)教員															
	実務家教員															
	(みなし専任教員)															
○○研究科○○専攻 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

- [注] 1 全学の専任教員について、学部、大学院研究科、専門職大学院、研究所等、各所属組織ごとに記載し、空欄部分に数値を入力してください。網掛けの欄には計算式が入っています。専任教員数の記入に際しては、休職、サバティカル制度等により一時的に大学を離れている場合も、専任教員数に算入してください。ただし、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、専任教員数には含めないでください。
- 2 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制専任教員は専任教員数に含めてください。その他、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、研究条件等において専任教員と同等の者（専任者）のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄（左側）に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。また、専任者に該当しない特任教授等については「兼任教員数」欄に記入してください。
- 3 本表内では1人の専任教員を同一の課程間（学士課程間、修士課程間）に重複記入しないでください。ただし、学士課程と修士課程、修士課程と博士課程（それぞれ1専攻に限る）など、複数の課程間に重複して記入することは可能です。
- 4 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数（併設短期大学からの兼務者も含む）を記入してください。同一の兼任教員が複数の学科、専攻を担当する場合は、それぞれ記入してください（重複可）。大学の状況によっては、学科ごとではなく学部全体、研究科全体で記述しても構いません。
- 5 専任教務補助員（例えば、いわゆる副手、実験補助員等）、ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。また、薬学部を設置している場合には、備考欄に、実務家教員数をご記入ください。
- 6 「設置基準上必要専任教員数」欄には、学部については大学設置基準別表第一、第二、大学院研究科については「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」（平成11年文部省告示 第175号）、専門職大学院については「専門職大学院に関し必要な事項について定める（平成15年文部科学省告示第53号）により算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに、備考欄にその旨を記述してください。
- 7 「助手」欄には、所属先にかかわらず、業務に従事している助手数をすべて記入してください。（例：学部の助手であっても大学院研究科においても従事している場合、大学院研究科の助手数にも含めてください。また、修士課程、博士課程、専門職学位課程のいずれも担当している場合にも、それぞれの助手数に含めてください。）
- <学部・学科等について>
- 8 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等の学部教育を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の学部教育担当組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 9 「専任教員1人あたりの在籍学生数」欄には、表4の在籍学生数(B) / 本表の専任教員数計(A)により、算出してください。なお、「(その他の学部教育担当組織)」がある場合には、その他の学部教育担当組織に所属する教員数を各学部・学科の収容定員に応じてそれぞれに按分して算出してください。
- 10 「専任教員数」欄には、大学院研究科等の専任で、その研究科の基礎となる学部・学科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。（例：大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら研究科の専任教員によって行われている場合など）
- 11 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学設置基準における必要専任教員数に留意して、学部教育担当専任教員数を適切に記入してください。

- 12 学部における設置基準上必要な教授数は、各学科で算出した必要教授数の合計値になり、大学全体における設置基準上必要な教授数は、各学部の必要教授数と大学全体の収容定員に応じ定める教授数の合計値になります。

<大学院研究科について>

- 13 「研究指導教員」とは、大学院設置基準第9条第1項各号に掲げる資格を有する教員を指し、「研究指導補助教員」とは、研究指導の補助を行い得る教員を指します。「研究指導教員」「研究指導補助教員」については、研究指導を行っているあるいは補助しているという実態による判断ではなく、学内基準による研究指導資格あるいは研究指導補助資格の有無で判断してください。
- 14 「専任教員数」欄には、学部・学科等の専任で、大学院研究科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。
(例：学部・学科に専任教員が配置され、大学院教育が専ら学部・学科の専任教員によって行われている場合など)

<専門職大学院について>

- 15 専門職大学院については、既存の研究科の1専攻として置かれている場合であっても、「専門職大学院」欄に別に作表してください。
- 16 専任教員の内訳については、次の定義・名称によって作表してください。また、専任教員は①～④のいずれかに割り振り、重複のないように記載してください。
- ①「専任教員」：当該専門職大学院の専任教員であって、下記②～④以外の者
 - ②専任（兼担）教員：専門職大学院設置基準第5条第2項に基づき、当該大学院の専任教員であって、他研究科または当該大学院を1専攻として開設している研究科の他専攻の博士後期課程の専任でもある者。ただし、専門職学位課程に必ず置くこととされる専任教員数（専門職大学院の必置教員数）を超えて教員を配置している場合、または、2018（平成30）年度までの教職大学院の場合については、前記に限らず、専任（兼担）教員を配置することができる。
 - ③「実務家教員」：当該大学院の専任教員であって、平成15年文部科学省告示第53号第2条第1項に規定する実務経験と実務能力を有する者。
 - ④みなし専任教員：同告示同条第2項の規定により、実務家教員のうち専任教員以外の者であっても、専任教員とみなされる者。

(表3) 専任教員年齢構成

(2016年5月1日現在)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	22歳～ 30歳	計
医療保健学部 (含む助産学 専攻科)	教授	0	(3) 3	(2) 5	(1) 1	(4) 5	(1) 2	1	(1) 1	0	0	(12) 18
		0.0%	16.7%	27.8%	5.6%	27.8%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	1	(2) 3	(3) 6	(3) 6	(1) 4	0	0	(9) 20
		0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	15.0%	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	0	0	1	(1) 5	8	(1) 2	0	0	(2) 16
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	31.3%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	1	2	5	9	2	19
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	26.3%	47.4%	10.5%	100%	
助手	0	0	0	0	0	0	0	1	3	8	12	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	66.7%	100%	
計	0	(3) 3	(2) 5	(1) 2	(6) 9	(5) 14	(3) 17	(3) 13	12	10	(23) 85	
	0.0%	3.5%	5.9%	2.4%	10.6%	16.5%	20.0%	15.3%	14.1%	11.8%	100%	
東が丘・立川 看護学部	教授	(2) 2	(1) 1	(1) 1	(2) 2	(1) 1	(2) 3	0	0	0	0	(9) 10
		20.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	(2) 2	(4) 4	(4) 4	(3) 3	(2) 2	(1) 1	0	0	(16) 16
		0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	18.8%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	(1) 1	(3) 3	(2) 2	(3) 3	(3) 3	(1) 2	(1) 1	0	(14) 15
		0.0%	0.0%	6.7%	20.0%	13.3%	20.0%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	4	1	4	2	0	11
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	9.1%	36.4%	18.2%	0.0%	100%	
助手	0	0	0	0	0	1	5	6	6	0	18	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	27.8%	33.3%	33.3%	0.0%	100%	
計	(2) 2	(1) 1	(4) 4	(9) 9	(7) 7	(8) 14	(5) 11	(2) 13	(1) 9	0	(39) 70	
	2.9%	1.4%	5.7%	12.9%	10.0%	20.0%	15.7%	18.6%	12.9%	0.0%	100%	
学部合計	(2) 2	(4) 4	(6) 9	(10) 11	(13) 16	(13) 28	(8) 28	(5) 26	(1) 21	10	(62) 155	
	1.3%	2.6%	5.8%	7.1%	10.3%	18.1%	18.1%	16.8%	13.5%	6.5%	100%	

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	22歳～ 30歳	計	
医療保健学研究科	教授	6	0	0	2	1	1	0	0	0	0	10	
		60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	准教授	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
計	6	0	0	2	2	1	1	1	1	0	0	13	
	46.2%	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	100%	
看護学研究科	教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
	准教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
大学院合計		6	0	0	2	2	1	1	1	0	0	13	
		46.2%	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	100%	
大学合計		(2) 8	(4) 4	(6) 9	(10) 13	(13) 18	(13) 29	(8) 29	(5) 27	(1) 21	10	(62) 168	
		4.8%	2.4%	5.4%	7.7%	10.7%	17.3%	17.3%	16.1%	12.5%	6.0%	100%	
定年 65 歳													

- [注] 1 学部、大学院研究科（及びその他の組織）の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。
ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の表を学部準じて別個に作成してください。
- 2 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。
- 3 学部欄（ ）は大学院兼任で内数である。

(表4) 専任教員の担当授業時間(平成27年度実績)

医療保健学部看護学科 (40人)

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教 ※1	備考
最高	43.2 授業時間	43.3 授業時間	42.8 授業時間	31.4 授業時間	1 授業時間 45 分 ※1「所属が専攻科のため助教1人を除く」
最低	8.3 授業時間	18.6 授業時間	6.0 授業時間	4.3 授業時間	
平均	27.9 授業時間	30.4 授業時間	22.7 授業時間	23.2 授業時間	
責任授業時間数	—	—	—	—	

医療保健学部医療栄養学科 (18人)

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	20.2 授業時間	22.4 授業時間	23.0 授業時間	—	1 授業時間 45 分
最低	7.0 授業時間	3.0 授業時間	18.6 授業時間	—	
平均	16.0 授業時間	16.6 授業時間	20.2 授業時間	—	
責任授業時間数	—	—	—	—	

医療保健学部医療情報学科 (12人)

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	20.0 授業時間	18.0 授業時間	14.5 授業時間	11.0 授業時間	1 授業時間 45 分
最低	10.5 授業時間	18.0 授業時間	8.0 授業時間	5.0 授業時間	
平均	15.5 授業時間	18.0 授業時間	11.3 授業時間	8.0 授業時間	
責任授業時間数	—	—	—	—	

助産学専攻科 (3人)

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	—	—	40.5 授業時間	37.7 授業時間	1 授業時間 45 分
最低	—	—	39.1 授業時間	37.7 授業時間	
平均	—	—	39.8 授業時間	37.7 授業時間	
責任授業時間数	—	—	—	—	

東が丘・立川看護学部看護学科 (50人)

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	16.4 授業時間	15.9 授業時間	12.8 授業時間	12.0 授業時間	1 授業時間 45 分 新コースが完成年度をむかえていないため、授業時間が特に少ない教員がいる。
最低	0.9 授業時間	0.3 授業時間	0.7 授業時間	0.4 授業時間	
平均	8.0 授業時間	7.5 授業時間	6.4 授業時間	4.1 授業時間	
責任授業時間数	—	—	—	—	

- [注] 1 学部、大学院研究科（及びその他の組織）の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。本表においては、担当授業時間数が「0」となる専任教員（例：サバティカル等による）は、本表には含めず、注書きを付してください。（記入例：※1「サバティカル取得中の教授1人を除く」）
- 2 専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
 - 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
 - 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「—」を記入してください。
 - 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合において、何らかの事由がある時は、そのことを欄外に付記してください。
 - 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めてください。

(表5) 専任教員の給与 (2015年1月～12月)

学部・研究科		専任教員俸給額(年収) (円)			
		教授	准教授	講師	助教
医療保健学部	最低	9,477,500	7,440,000	6,289,200	4,933,000
	平均	10,675,080	8,442,818	6,744,306	5,777,780
東が丘・立川看護学部	最低	10,075,800	8,044,300	5,961,700	5,375,400
	平均	10,802,814	9,075,992	7,371,780	5,802,700

- [注] 1 2015年1月から12月の1年間を対象として作成してください。
 2 年収は、諸手当を含めた前年の支給総額を記入してください。
 3 「最低」「平均」の記入にあたっては、上記1の期間途中での採用及び退職者は除いてください。

Ⅲ 教育内容・方法・成果

(表6) 開設授業科目における専兼比率 (平成27年度実績)

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
医療保健学部	看護学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	44.3	0	56.4
			兼任担当科目数 (B)	7.7	0	23.3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	85.2	0	70.8
		教養教育	専任担当科目数 (A)	10	0	15.9
			兼任担当科目数 (B)	8	0	32.1
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	55.6	0	33.1
	医療栄養学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	48	0	63
			兼任担当科目数 (B)	2	0	17
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	96.0	0	78.8
		教養教育	専任担当科目数 (A)	9.8	0	19
			兼任担当科目数 (B)	8.2	0	30
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	54.4	0	38.8
	医療情報学科	専門教育	専任担当科目数 (A)	28.2	3	41.2
			兼任担当科目数 (B)	22.8	0	38.8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	55.4	100	51.5
		教養教育	専任担当科目数 (A)	9.9	0	14.4
			兼任担当科目数 (B)	8.1	0	35.6
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	55.0	0	28.8

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
東が丘・立川看護学部	看護学科	専門分野	専任担当科目数 (A)	85	3	64
			兼任担当科目数 (B)	28	4	15
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	75.2	42.9	81.0
		基礎分野	専任担当科目数 (A)	4	0	3
			兼任担当科目数 (B)	16	18	21
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	20.0	0.0	12.5

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 3 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 4 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 5 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
 ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
 ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 6 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください。
 (例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります)。

(表7) 卒業判定

学部・学科		2011年度			2012年度			2013年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
医療保健学部	看護学科	120	114	95.0	123	118	95.9	122	118	96.7
	医療栄養学科	102	99	97.1	115	110	95.7	102	95	93.1
	医療情報学科	64	48	75.0	58	45	77.6	86	75	87.2
計		286	261	91.3	296	273	92.2	310	288	92.9

学部・学科		2014年度			2015年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
医療保健学部	看護学科	113	111	98.2	111	108	97.3
	医療栄養学科	119	114	95.8	112	108	96.4
	医療情報学科	74	62	83.8	77	64	83.1
計		306	287	93.8	300	280	93.3

学部・学科		2013年度			2014年度			2015年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
東が丘・立川看護学部		98	98	100.0	126	125	99.2	98	98	100.0

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

(表8) 大学院における学位授与状況

研究科・専攻			2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		備考
			修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	
医療保健学研究科	医療保健学専攻	修士課程	29	28	23	21	27	23	29	19	25	13	
		博士課程	4	4	6	3	5	4	3	3	2	1	
		博士(論文)	/	—	/	—	/	—	/	—	/	—	
		専門職学位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
看護学研究科	看護学専攻	修士課程	20	20	20	20	28	28	30	30			2010年4月1日開設
		博士課程	—	—	—	—	0	0	0	0			2014年4月1日開設
		博士(論文)	/	—	/	—	/	—	/	—	/	—	
		専門職学位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

[注] 1 「修了予定者」欄には、留年者も含め、当該年度修了予定の在籍学生数を記入してください。

2 当該研究科もしくは専攻、課程が最近開設され、そのために学位授与該当者がいない場合は、備考欄にその開設年月日を記載してください。

(表9) 就職・大学院進学状況

学 部	進 路		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
医療保健学部	就職	民間企業	95	103	117	144	134
		官公庁	3	3	3	4	9
		教員	0	0	0	0	0
		上記以外	127	129	138	124	123
	進学	自大学院	0	0	0	0	0
		他大学院	4	3	5	2	2
		上記以外	6	13	10	5	6
	そ の 他		26	22	15	8	6
合 計		261	273	288	287	280	

学 部	進 路		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
東が丘・立川 看護学部	就職	民間企業	—	—	1	0	2
		官公庁	—	—	3	3	0
		教員	—	—	0	0	0
		上記以外	—	—	85	111	85
	進学	自大学院	—	—	3	5	5
		他大学院	—	—	2	1	0
		上記以外	—	—	0	1	1
	そ の 他		—	—	4	4	5
合 計		—	—	98	125	98	

- [注] 1 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のうちいずれにも該当しないもののすべての数を記入してください。
- 2 専門学校教員、日本語教師、NGO団体、国際機関等への就職については、「就職（上記以外）」の欄に記入してください。
- 3 専門学校への進学は、「進学（上記以外）」欄に記入してください。

(表10) 国家試験合格率

学 部・学 科	国家試験の名称	平成23年度			平成24年度		
		受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100
医療保健学部・看護学科	看護師	120	114	95.0	124	113	91.1
医療保健学部・看護学科	保健師	124	106	85.5	128	124	96.9
助産学専攻科	助産師	23	22	95.7	19	19	100.0
医療保健学部・医療栄養学科	管理栄養士	92	88	95.7	102	88	86.3

学 部・学 科 等	国家試験の名称	平成25年度			平成26年度		
		受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100
医療保健学部・看護学科	看護師	127	123	96.9	115	111	96.5
医療保健学部・看護学科	保健師	123	100	81.3	75	75	100.0
助産学専攻科	助産師	21	21	100.0	19	19	100.0
医療保健学部・医療栄養学科	管理栄養士	87	81	93.1	110	103	93.6
東が丘・立川看護学部・看護学科	看護師	98	94	95.9	125	122	97.6
東が丘・立川看護学部・看護学科	保健師	90	71	78.9	113	113	100.0
看護学研究科	助産師	5	5	100.0	7	7	100.0

学 部・学 科 等	国家試験の名称	平成27年度		
		受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100
医療保健学部・看護学科	看護師	112	111	99.1
医療保健学部・看護学科	保健師	21	19	90.5
助産学専攻科	助産師	19	19	100.0
医療保健学部・医療栄養学科	管理栄養士	106	79	74.5
東が丘・立川看護学部・看護学科	看護師	98	94	95.9
東が丘・立川看護学部・看護学科	保健師	—	—	—
看護学研究科	助産師	3	3	100.0

(表11) 公開講座の開設状況

大学 研 究 学 部 科	年間開設講座数(A)					募集人員(延べ数)					参加者(延べ数)(B)				
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
医療保健学部	3	3	3	3	3	150	150	150	150	150	140	68	115	181	143
医療保健学研究科	1	1	1	1	1	220	220	200	200	200	177	176	173	152	162
東が丘・立川看護学部 看護学研究科	1	1	2	2	2	120	100	200	200	100	115	90	171	132	68
計	5	5	6	6	6	490	470	550	550	450	432	334	459	465	373

大学 研 究 学 部 科	1講座当たりの 平均受講者数 B/A				
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
医療保健学部	46.7	22.7	38.3	60.3	47.7
医療保健学研究科	177.0	176.0	173.0	152.0	162.0
東が丘・立川看護学部 看護学研究科	115.0	90.0	85.5	66.0	34.0
計	86.4	66.8	76.5	77.5	62.2

- [注] 1 ここでの公開講座とは、大学が社会人などを対象に開講する授業や、授業に匹敵する内容の講座です。
 2 シンポジウム、講演会は含めないでください。

IV 学生の受け入れ

(表12) 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者数の推移

<学部>

学部名	学科名	入試の種類		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2016年度 入学者の 学科計に対する 割合(%)	2016年度 入学者の 学部計に対する 割合(%)
医療保健学部	看護学科	一般入試	志願者	1,511	1,604	1,572	1,624	1,493	70.43	30.00
			合格者	258	261	313	302	342		
			入学者(A)	76	71	83	74	81		
			入学定員(B)	70	70	70	70	70		
		A/B	1.09	1.01	1.19	1.06	1.16			
		AO入試	志願者	120	113	106	91	90	6.96	2.96
			合格者	10	10	8	8	9		
			入学者(A)	10	10	8	8	8		
			入学定員(B)	8	8	8	8	8		
		A/B	1.25	1.25	1.00	1.00	1.00			
		指定校推薦入試	志願者	16	14	19	14	16	13.91	5.93
			合格者	16	14	19	14	16		
	入学者(A)		16	14	19	14	16			
	入学定員(B)		12	12	12	12	12			
	A/B	1.33	1.17	1.58	1.17	1.33				
	公募制推薦入試	志願者	45	50	44	41	34	8.70	3.70	
		合格者	10	11	10	10	10			
		入学者(A)	10	11	10	10	10			
		入学定員(B)	10	10	10	10	10			
	A/B	1.00	1.10	1.00	1.00	1.00				
	学科計	志願者	1,692	1,781	1,741	1,770	1,633	100.00		
		合格者	294	296	350	334	377			
		入学者(A)	112	106	120	106	115			
		入学定員(B)	100	100	100	100	100			
A/B	1.12	1.06	1.20	1.06	1.15					
医療栄養学科	一般入試	志願者	453	578	505	482	376	74.36	32.22	
		合格者	215	196	202	223	212			
		入学者(A)	86	75	74	78	87			
		入学定員(B)	70	70	70	70	70			
	A/B	1.23	1.07	1.06	1.11	1.24				
	AO入試	志願者	30	44	39	35	26	11.97	5.19	
		合格者	12	12	11	10	14			
		入学者(A)	11	12	11	10	14			
入学定員(B)		10	10	10	10	10				
A/B	1.10	1.20	1.10	1.00	1.40					

学部名	学科名	入試の種類		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2016年度 入学者の 学科計に対する 割合(%)	2016年度 入学者の 学部計に対する 割合(%)
医療 保健 学部	医療 栄養 学科	指定校推薦入試	志願者	3	9	8	8	3	2.56	1.11
			合格者	3	9	8	8	3		
			入学者(A)	3	9	8	8	3		
			入学定員(B)	10	10	10	10	10		
			A/B	0.30	0.90	0.80	0.80	0.30		
		公募制推薦	志願者	26	20	15	24	13	11.11	4.81
			合格者	14	11	13	12	13		
			入学者(A)	14	11	13	12	13		
			入学定員(B)	10	10	10	10	10		
			A/B	1.40	1.10	1.30	1.20	1.30		
	学 科 計	志願者	512	651	567	549	418	100.00		
		合格者	244	228	234	253	242			
		入学者(A)	114	107	106	108	117			
		入学定員(B)	100	100	100	100	100			
	医 療 情 報 学 科	一般入試	志願者	121	129	116	148	80	31.58	4.44
			合格者	103	104	83	123	67		
			入学者(A)	34	33	28	31	12		
			入学定員(B)	35	35	35	35	35		
			A/B	0.97	0.94	0.80	0.89	0.34		
		A O 入 試	志願者	27	38	53	34	22	55.26	7.78
			合格者	27	37	50	33	21		
			入学者(A)	27	37	50	32	21		
			入学定員(B)	30	30	30	30	30		
		指定校推薦入試	志願者	22	18	12	10	5	13.16	1.85
合格者			22	18	12	10	5			
入学者(A)			22	18	12	10	5			
入学定員(B)			10	10	10	10	10			
公募制推薦入試		志願者	2	3	1	0	0	0.00	0.00	
		合格者	2	3	1	0	0			
		入学者(A)	2	3	1	0	0			
		入学定員(B)	5	5	5	5	5			
		A/B	0.40	0.60	0.20	0.00	0.00			
学 科 計		志願者	172	188	182	192	107	100.00		
		合格者	154	162	146	166	93			
	入学者(A)	85	91	91	73	38				
	入学定員(B)	80	80	80	80	80				
	A/B	1.06	1.14	1.14	0.91	0.48				
学 部 合 計	志願者	2,376	2,620	2,490	2,511	2,158		100.00		
	合格者	692	686	730	753	712				
	入学者(A)	311	304	317	287	270				
	入学定員(B)	280	280	280	280	280				
	A/B	1.11	1.09	1.13	1.03	0.96				

学部名	学科名	入試の種類		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2016年度 入学者の 学科計に対する 割合(%)	2016年度 入学者の 学部計に対する 割合(%)
東が丘・立川看護学部	看護学科	一般入試	志願者	1,322	1,325	1,395	1,336	1,065	52.02	52.02
			合格者	248	272	369	257	305		
			入学者(A)	84	76	122	103	116		
			入学定員(B)	75	75	150	140	140		
		A/B	1.12	1.01	0.81	0.74	0.83			
		指定校推薦入試	志願者	12	15	46	39	36	16.14	16.14
			合格者	12	15	42	39	36		
			入学者(A)	12	15	42	39	36		
			入学定員(B)	15	15	30	40	40		
		A/B	0.80	1.00	1.40	0.98	0.90			
		公募制推薦入試	志願者	51	34	101	86	79	31.84	31.84
			合格者	13	12	67	61	71		
	入学者(A)		13	12	67	61	71			
	入学定員(B)		10	10	20	20	20			
	A/B	1.30	1.20	3.35	3.05	3.55				
	学科計	志願者	1,385	1,374	1,542	1,461	1,180	100.00		
		合格者	273	299	478	357	412			
入学者(A)		109	103	231	203	223				
入学定員(B)		100	100	200	200	200				
A/B	1.09	1.03	1.16	1.02	1.12					
学部合計	志願者	1,385	1,374	1,542	1,461	1,180		100.00		
	合格者	273	299	478	357	412				
	入学者(A)	109	103	231	203	223				
	入学定員(B)	100	100	200	200	200				
A/B	1.09	1.03	1.16	1.02	1.12					
大学合計	志願者	3,761	3,994	4,032	3,972	3,338				
	合格者	965	985	1,208	1,110	1,124				
	入学者(A)	420	407	548	490	493				
	入学定員(B)	380	380	480	480	480				
A/B	1.11	1.07	1.14	1.02	1.03					

<大学院研究科>

研究科名	専攻名	入試の種類		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	入学者の課程計に対する割合 (%)	入学者の研究科計に対する割合 (%)
医療保健学研究科	医療保健学専攻（修士課程）	一般入試	志願者	29	27	18	25	25	/	/
			合格者	26	26	18	25	25		
			入学者(A)	25	25	18	25	25		
			入学定員(B)	25	25	25	25	25		
			A/B	1.00	1.00	0.72	1.00	1.00		
		推薦入試	志願者	0	0	0	0	1		
			合格者	0	0	0	0	1		
			入学者(A)	0	0	0	0	0		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B					0		
		課程計	志願者	29	27	18	25	26		
			合格者	26	26	18	25	26		
	入学者(A)		25	25	18	25	25			
	入学定員(B)		25	25	25	25	25			
	A/B		1.00	1.00	0.72	1.00	1.00			
	医療保健学専攻（博士課程）	一般入試	志願者	2	2	2	5	3		
			合格者	2	2	2	5	2		
			入学者(A)	2	2	2	5	2		
			入学定員(B)	4	4	4	4	4		
			A/B	0.50	0.50	0.50	1.25	0.50		
		課程計	志願者	2	2	2	5	3		
	合格者		2	2	2	5	2			
	入学者(A)		2	2	2	5	2			
	入学定員(B)		4	4	4	4	4			
A/B	0.50		0.50	0.50	1.25	0.50				
専攻計	志願者	31	29	20	30	29				
	合格者	28	28	20	30	28				
	入学者(A)	27	27	20	30	27				
	入学定員(B)	29	29	29	29	29				
	A/B	0.93	0.93	0.69	1.03	0.93				
研究科合計	志願者	31	29	20	30	29				
	合格者	28	28	20	30	28				
	入学者(A)	27	27	20	30	27				
	入学定員(B)	29	29	29	29	29				
	A/B	0.93	0.93	0.69	1.03	0.93				

研究科名	専攻名	入試の種類		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	入学者の課程計に対する割合(%)	入学者の研究科計に対する割合(%)
看護学研究科	看護学専攻(修士課程)	一般入試	志願者	21	27	24	23	33	/	/
			合格者	16	20	20	20	31		
			入学者(A)	16	17	18	19	31		
			入学定員(B)	30	30	30	30	30		
			A/B	0.53	0.57	0.60	0.63	1.03		
		推薦入試	志願者	14	14	14	9			
			合格者	14	14	14	9			
			入学者(A)	14	14	14	9			
			入学定員(B)	0	0	0	0			
			A/B							
		課程計	志願者	35	41	38	32	33		
			合格者	30	34	34	29	31		
	入学者(A)		30	31	32	28	31			
	入学定員(B)		30	30	30	30	30			
	A/B		1.00	1.03	1.07	0.93	1.03			
	(看護学専攻(博士課程))	一般入試	志願者	—	—	4	4	2		
			合格者	—	—	4	2	2		
			入学者(A)	—	—	4	2	2		
			入学定員(B)	—	—	2	2	2		
		A/B	—	—	2.00	1.00	1.00			
		課程計	志願者	—	—	4	4	2		
	合格者		—	—	4	2	2			
	入学者(A)		—	—	4	2	2			
	入学定員(B)	—	—	2	2	2				
A/B	—	—	2.00	1.00	1.00					
専攻計	志願者	35	41	42	36	35				
	合格者	30	34	38	31	33				
	入学者(A)	30	31	36	30	33				
	入学定員(B)	30	30	32	32	32				
	A/B	1.00	1.03	1.13	0.94	1.03				
研究科合計	志願者	35	41	42	36	35				
	合格者	30	34	38	31	33				
	入学者(A)	30	31	36	30	33				
	入学定員(B)	30	30	32	32	32				
	A/B	1.00	1.03	1.13	0.94	1.03				
大学院合計	志願者	66	70	62	66					
	合格者	58	62	58	61					
	入学者(A)	57	58	56	60					
	入学定員(B)	59	59	61	61					
	A/B	0.97	0.98	0.92	0.98					

- [注] 1 空欄部分に数値を入力してください。網掛けの欄には計算式が入っています。
- 2 「A/B」「2016年度入学者の学科計に対する割合(%)」「2016年度入学者の学部計に対する割合(%)」は小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位まで表示してください。
 - 3 学部・学科、博士課程前期(修士)課程、博士課程後期(博士)課程、専門職大学院等、各学位課程ごとに学生募集別で記入してください。
 - 4 「入試の種類」は、大学の実態に合わせて作成してください。ただし、「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。また、編入学試験については、記載は不要です。
 - 5 セメスター制などの採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
 - 6 学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。
 - 7 留学生入試を実施している場合、交換留学生は含めないでください。
 - 8 入学定員が若干名の場合は「0」として記入してください。
 - 9 法科大学院において未修・既修を分けて入試を実施していない場合は、両者をひとつにまとめて記入してください。

(表13) 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数

学部・研究科	学科・専攻	2016年度 入学定員	2016年度 収容定員	在籍学生数 (B)	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する 入学者数比率 (5年間平均)	編入学生数	編入学定員 に対する編入 学生数比率	修業 年限	2年次編入			3年次編入			4年次編入			入学者					入学者 計	入学定員					入学 定員計			
										編入学 定員	編入学 の収容 定員	編入学 定員	編入学 の収容 定員	編入学 定員	編入学 の収容 定員	編入学 定員	編入学 の収容 定員	編入学 定員	編入学 の収容 定員	編入学 定員	編入学 の収容 定員	2012	2013		2014	2015	2016	2012	2013		2014	2015	2016
																									2012	2013	2014	2015	2016		2012	2013	2014
学士課程	医療保健学部	看護学科	100	400	441	1.10	1.12	0	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	112	106	120	106	115	559	100	100	100	100	100	500			
		医療栄養学科	100	400	426	1.07	1.10	0	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	114	107	106	108	117	552	100	100	100	100	100	500			
		医療情報学科	80	320	282	0.88	0.95	0	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	85	91	91	73	38	378	80	80	80	80	80	400			
	計	280	1120	1149	1.03	1.06	0	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	311	304	317	287	270	1489	280	280	280	280	280	1400				
	東が丘・立川看護学部 ※2010年4月開設	看護学科 ※2014年4月定員増	200	700	755	1.08	1.08	0	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	109	103	231	203	223	869	100	100	200	200	200	800			
	計	200	700	755	1.08	1.08	0	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109	103	231	203	223	869	100	100	200	200	200	800			
学部合計		480	1820	1904	1.05	1.07	0	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	420	407	548	490	493	2358	380	380	480	480	480	2200				
修士・博士課程	助産学専攻科		20	80	19	0.24	1.00			2								19	21	21	20	19	100	20	20	20	20	20	100				
	別科合計		20	80	19	0.24	1.00			2									19	21	21	20	19	100	20	20	20	20	20	100			
	医療保健学研究科	修士課程医療保健学専攻	25	50	59	1.18	0.94			2									25	25	18	25	25	118	25	25	25	25	25	125			
	計		25	50	59	1.18	0.94			2									25	25	18	25	25	118	25	25	25	25	25	125			
	看護学研究科	修士課程看護学専攻	30	60	60	1.00	1.01			2										30	31	32	28	31	152	30	30	30	30	30	150		
	計		30	60	60	1.00	1.01			2										30	31	32	28	31	152	30	30	30	30	30	150		
	修士課程合計		55	110	119	1.08	0.98			2									55	56	50	53	56	270	55	55	55	55	55	275			
	医療保健学研究科	博士課程医療保健学専攻	4	12	10	0.83	0.65			3										2	2	2	5	2	13	4	4	4	4	4	20		
	計		4	12	10	0.83	0.65			3										2	2	2	5	2	13	4	4	4	4	4	20		
	看護学研究科	博士課程看護学専攻	2	6	8	1.33	1.33			3										-	-	4	2	2	8	-	-	2	2	2	6		
	計		2	6	8	1.33	1.33			3										0	0	4	2	2	8	0	0	2	2	2	6		
	博士課程合計		6	18	18	1.00	0.77			3										2	2	6	7	4	21	4	4	6	6	6	26		
	専門職学位課程	専門職学位課程	専攻	2016年度 入学定員	2016年度 収容定員	在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する 入学者数比率 (5年間平均)			修業 年限									入学者					入学者 計	入学定員					入学 定員計		
		■■研究科 (専門職大学院)	■■専攻 ■■専攻		0		-	#DIV/0!			3									2012	2013	2014	2015	2016	0	2012	2013	2014	2015	2016	0		
		計		0	0	0	-	#DIV/0!			3									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		専門職課程合計		0	0	0	-	#DIV/0!			3									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		法科大学院	専攻	2016年度 入学定員	2016年度 収容定員	在籍学生数	収容定員に対する 在籍学生数比率	入学定員に対する 入学者数比率 (5年間平均)			修業 年限										入学者					入学者 計	入学定員					入学 定員計	
		法務研究科	法務専攻(3年)		0		-	#DIV/0!			3									2012	2013	2014	2015	2016	0	2012	2013	2014	2015	2016	0		
		法務専攻(2年)		0		-	#DIV/0!			2									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		留年者総数																															
		休学者総数																															
法科大学院合計			0	0	0	-	#DIV/0!												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

[注] 1 空欄部分に数値を入力してください。網掛けの欄には計算式が入っています。
 2 A3版で作成してください。また、提出時は、可能であれば、1ページに収まるよう印刷してください。印刷が2ページ以上わたる場合には、2ページ目以降でも「学部・研究科」「学科・専攻」等の欄が表示されるように印刷設定をしてください。
 3 「収容定員に対する在籍学生数比率」「入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)」「編入学定員に対する編入学生数比率」は小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位まで表示してください。
 4 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
 5 「入学者」「入学定員」は、修業年限を4年とする学部・学科の場合は「2012年」以降の5年間分を入力してください。修業年限を6年とする学部・学科の場合は、「2011年」以降の6年間分を入力してください。なお、修士・博士課程、専門職学位課程については、「2012年」以降の5年間分を入力してください。
 セメスター制などの採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時を設定している場合、本協会が定める作成基準日(申請前年度の5月1日)時点で実施済みの入学試験における入学定員及び入学者数を記入してください。
 6 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成してください。
 7 学部・学科、大学院研究科・専攻等が募集停止あるいは完成年度に達していない場合、学部・学科、研究科・専攻名の欄に「※」を付して注記してください。(例：※2013年4月募集停止 など)
 8 募集停止後、留年生のみ在籍している学部等がある場合は、その学部の欄を設け、「在籍学生数(B)」欄のみ記入してください。
 9 大学院、別科および専攻科の修業年限の既定値は、大学の実態に合わせて適宜数値を変更して記入してください。
 10 「入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)」は、あらかじめ5年平均を算出するよう計算式を組んでいるので、開設後5年未満の学部・学科等の場合は、開設後の年数に合わせて計算式を修正してください。

(表14) 学部・学科の退学者数

学部	学科	2011年度					2012年度					2013年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
医療保健学部	看護学科	1	1	2	1	5	0	6	2	0	8	2	1	2	2	7
	医療栄養学科	1	1	1	1	4	3	2	3	0	8	1	3	2	1	7
	医療情報学科	3	3	1	3	10	2	8	5	10	25	2	8	3	6	19
東が丘・立川看護学部	看護学科	2	2	—	—	4	3	2	0	—	5	1	3	2	1	7
合 計		7	7	4	5	23	8	18	10	10	46	6	15	9	10	40

学部	学科	2014年度					2015年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
医療保健学部	看護学科	1	1	2	2	6	0	1	3	1	5
	医療栄養学科	0	2	0	1	3	1	5	1	2	9
	医療情報学科	2	7	7	4	20	0	4	4	6	14
東が丘・立川看護学部	看護学科	1	1	2	1	5	3	3	0	2	8
合 計		4	11	11	8	34	4	13	8	11	36

[注] 1 退学者数には、除籍者も含めてください。

2 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

V 学生支援

(表15) 奨学金給付・貸与状況

医療保健学部・東が丘・立川看護学部

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (A)	在籍学生総数 (B)	在籍学生数に対する比率 $A/B*100$	支給総額 (C)	1件当たり支給額 C/A
スカラシップ I	学内	給付(授業料全学免除)	34	1,818	1.6	33,050,000	972,059
スカラシップ II	学内	給付(授業料半額免除)	49	1,818	2.7	20,525,000	418,878
日本学生支援機構	学外	貸与	793	1,818	43.6	649,824,000	819,450
東京都看護修学資金	学外	貸与	6	1,075	0.6	3,396,000	566,000

大学院医療保健学研究科(修士課程・博士課程)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (A)	在籍学生総数 (B)	在籍学生数に対する比率 $A/B*100$	支給総額 (C)	1件当たり支給額 C/A
THCU修士課程スカラシップ	学内	給付(授業料一部免除)	1	51	2.0	100,000	100,000
THCU博士課程スカラシップ	学内	給付(授業料一部免除)	1	9	11.1	300,000	300,000
日本学生支援機構	学外	貸与	3	60	5.0	2,470,000	823,333

大学院看護学研究科(修士課程・博士課程)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (A)	在籍学生総数 (B)	在籍学生数に対する比率 $A/B*100$	支給総額 (C)	1件当たり支給額 C/A
日本学生支援機構	学外	貸与	19	66	28.8	28,968,000	1,524,632

[注] 1 2015年度実績をもとに作表してください。

2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。

3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。

4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

(表16) 学生相談状況

医療保健学部

施設の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数					備 考
						2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	
保健室	1	0	5	237	9:00~17:00	218	—	—	—	—	看護師
五反田保健室	1	0	5	237	9:00~17:00	—	122	166	151	103	看護師
世田谷保健室	1	0	5	237	9:00~17:00	—	47	49	71	42	看護師

- [注] 1 2012年度年度より世田谷キャンパス、五反田キャンパスの保健室に其々1名の看護師を配置した。
2 本件数は、精神的問題に関する相談件数である。

東が丘・立川看護学部(2010年4月設置)

施設の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数					備 考
						2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	
学生相談室	1	0	5	237	9:30~16:30	(6) 32	(8) 53	(34) 104	(37) 82	(39) 86	カウンセラー

- [注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄または欄外に記載してください。
2 年間相談件数は、延べ数を記載してください。
3 本件数は、精神的問題に関する相談件数である。
4 2011年度～2012年度の（ ）は医療保健学部学生が学生相談室を利用した数であり内数。
5 2013年度の（ ）は医療保健学部生の相談22件、大学院生の相談12件であり内数。
6 2014年度の（ ）は医療保健学部生の相談31件、大学院生の相談6件であり内数。
7 2015年度の（ ）は医療保健学部生の相談31件、大学院生の相談8件であり内数。

VI 教育研究等環境

(表17) 専任教員の研究費 (実績)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室等の 共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備考
医療保健学部	67,419,456	21,538,515	82	822,188	262,665	
東が丘・立川看護学部	36,868,200	16,352,812	50	737,364	327,056	
計	104,287,656	37,891,327	132	790,058	287,056	

- [注] 1 2015年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2015年度の数（助手を除く）を記入してください。
- 2 研究費総額 (A) には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額 (B) には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。

(表18) 専任教員の研究旅費

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
医療保健学部	総 額	0	0	0	0	3,520,825	6,635,977	個人研究費からの実費支給
	支 給 件 数	0	0	0	0	12	342	
東が丘・立川看護学部	総 額	0	0	0	0	2,830,152	3,234,999	個人研究費からの実費支給
	支 給 件 数	0	0	0	0	11	190	
計	総 額	0	0	0	0	6,350,977	9,870,976	
	支 給 件 数	0	0	0	0	23	532	

[注] 1 2015年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「17 専任教員の研究費（実績）」は含めないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件（例えば、受給資格、支給額の上限等）を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

(表19) 教員研究費内訳

学部・研究科等	研究費の内訳	2011年度		2012年度		2013年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
医療保健学部	研究費総額	136,821,124	100.0%	124,350,391	100.0%	153,438,291	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	84,079,124	61.5%	88,345,391	71.0%	86,754,791	56.5%
		学内共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%
	学外	科学研究費補助金	25,040,000	18.3%	16,510,000	13.3%	23,266,000	15.2%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	4,215,000	3.0%	3,960,000	3.2%	1,160,000	0.8%
		奨学寄附金	21,330,000	15.6%	15,155,000	12.2%	35,650,000	23.2%
		受託研究費	2,157,000	1.6%	380,000	0.3%	6,607,500	4.3%
		共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%

学部・研究科等	研究費の内訳	2014年度		2015年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	
医療保健学部	研究費総額	141,789,855	100.0%	140,155,049	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	100,296,110	70.7%	82,364,827	58.8%
		学内共同研究費	0	0%	0	0.0%
		その他	0	0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	24,709,745	17.4%	32,110,000	22.9%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	500,000	0.4%	1,410,000	1.0%
		奨学寄附金	12,954,000	9.1%	17,550,000	12.5%
		受託研究費	2,830,000	2.0%	2,498,000	1.8%
		共同研究費	500,000	0.4%	4,222,222	3.0%
		その他	0	0%	0	0.0%

学部・研究科等	研究費の内訳	2011年度		2012年度		2013年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
東が丘・立川 看護学部	研究費総額	42,961,157	100%	44,210,809	100%	43,598,984	100%	
	学 内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	35,551,157	82.8%	32,380,809	73%	35,868,984	82.3%
		学内共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%
	学 外	科学研究費補助金	7,410,000	17.2%	11,830,000	27%	6,680,000	15.3%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		奨学寄附金	0	0%	0	0%	0	0%
		受託研究費	0	0%	0	0%	1,050,000	2.4%
		共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%

学部・研究科等	研究費の内訳	2014年度		2015年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	
東が丘・立川 看護学部	研究費総額	59,031,342	100%	73,332,554	100%	
	学 内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	42,308,402	71.7%	45,129,554	61.5%
		学内共同研究費	0	0%	0	0.0%
		その他	0	0%	0	0.0%
	学 外	科学研究費補助金	14,270,000	24.2%	26,390,000	36.0%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0%	413,000	0.6%
		奨学寄附金	1,372,940	2.3%	0	0.0%
		受託研究費	1,080,000	1.8%	1,400,000	1.9%
		共同研究費	0	0%	0	0.0%
		その他	0	0%	0	0.0%

学部・研究科等	研究費の内訳	2011年度		2012年度		2013年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	
学部合計 〔医療保健学部 東が丘・立川 看護学部〕	研究費総額	179,782,281	100%	168,561,200	100%	197,037,275	100%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	119,630,281	66.5%	120,726,200	71.6%	122,623,775	62.2%
		学内共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%
	学外	科学研究費補助金	32,450,000	18.0%	28,340,000	16.9%	29,946,000	15.2%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	4,215,000	2.3%	3,960,000	2.3%	1,160,000	0.6%
		奨学寄附金	21,330,000	12%	15,155,000	9.0%	35,650,000	18.1%
		受託研究費	2,157,000	1.2%	380,000	0.2%	7,657,500	3.9%
		共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%

学部・研究科等	研究費の内訳	2014年度		2015年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	
学部合計 〔医療保健学部 東が丘・立川 看護学部〕	研究費総額	200,821,197	100%	213,487,603	100%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	142,604,512	71.0%	127,494,381	59.7%
		学内共同研究費	0	0%	0	0.0%
		その他	0	0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	38,979,745	19.4%	58,500,000	27.4%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	500,000	0.3%	1,823,000	0.9%
		奨学寄附金	14,326,940	7.1%	17,550,000	8.2%
		受託研究費	3,910,000	1.9%	3,898,000	1.8%
		共同研究費	500,000	0.3%	4,222,222	2.0%
		その他	0	0%	0	0.0%

(表20) 科学研究費の採択状況

学部・研究科等	科 学 研 究 費								
	2011年度			2012年度			2013年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
医療保健学部	10	2	20.0	20	5	25.0	17	6	35.3
東が丘・立川看護学部	7	4	57.1	6	2	33.3	5	1	20.0
計	17	6	35.3	26	7	26.9	22	7	31.8

学部・研究科等	科 学 研 究 費					
	2014年度			2015年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
医療保健学部	19	5	26.3	23	5	21.7
東が丘・立川看護学部	8	3	37.5	11	5	45.5
計	27	8	29.6	34	10	29.4

- [注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
 2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

(表21) 学外からの研究費の総額と一人当たりの額 (2015年度)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A+B)
		科学研究費補 助金総額 (A)	うちオーバーヘッドの額	その他の学外研究費総額 (B)	うちオーバーヘッドの額	
医療保健学部	81	32,110,000	7,410,000	25,680,222	2,247,942	57,790,222
東が丘・立川看護学部	65	26,390,000	6,090,000	1,813,000	263,333	28,203,000
合 計	146	58,500,000	13,500,000	27,493,222	2,511,275	85,993,222

- [注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
- 2 2015年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2015年度の人数を記入してください。
- 3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。

IV 施設・設備等

(表22) 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m ²)	設置基準上必要校地面積 (m ²)	校舎面積(m ²)	設置基準上必要校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・学生自習室総数	講義室・演習室・学生自習室総面積 (m ²)
【五反田キャンパス】 12,747m ² (市川運動場含む)	4,000m ²	7,422m ²	3,714m ²	21	1,321.4m ²
【世田谷キャンパス】 5,998m ² (桜グラウンド含む)	7,200m ²	6,799m ²	6,686m ²	22	1,597.3m ²
【国立病院機構キャンパス】 12,098m ²	7,000m ²	15,578m ²	5,123m ²	19	2,735.1m ²
【合計】 30,843m ²	18,200m ²	29,799m ²	15,523m ²	62	5,653.8m ²

[注] 1 「設置基準上必要校地面積 (m²)」「設置基準上必要校舎面積 (m²)」は、大学設置基準第37条、第37条の2 (別表第3イ～ハ) を参考に算出し、ご記入ください。その際の収容定員数は、**2016 (平成28) 年5月1日**現在を基準日としてください。また、新たに学部・研究科を設置した場合などは、平成15年3月31日文科科学省告示第44号に基づき、段階的な整備を踏まえて算出してください。

2 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館 (書庫、閲覧室、事務室)、管理関係施設 (学長室、応接室、事務室 (含記録庫)、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫)、学生集会所、食堂、廊下、トイレなどが挙げられます。

3 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室総数」に含めても結構です。

4 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

(表23) 教員研究室

学 部 研究科	室 数			総面積 (㎡)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率(% (A/B*100))	教員1人当た りの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
医療保健学部 (含む助産学専攻科)	43	12	55	1,301	19.4	39.0	85	50.6	15.3	29名 (内助手12名)
東が丘・立川看護学部 (含む看護学研究科)	36	8	44	897	19.6	23.9	70	51.4	12.8	28名 (内助手18名)
医療保健学研究科	9	1	10	192	17.5	33.6	13	69.2	14.8	2名 (教授、講師)
計	88	21	109	2,390	19.3	33.0	168	52.4	14.2	

- [注] 1 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。
- 2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。
- 3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入してください。
- 4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

(表24) 主要施設の概況

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
五反田校舎 本館	講義室、実習室、ゼミ室、図書館	昭和54(1979)年	5,008	
世田谷校舎 本館	講義室、演習室、図書館、研究室等	昭和58(1983)年	2,283	
世田谷校舎 別館	講義室、実習室、実験室、研究室等	昭和41(1966)年	3,913	
世田谷校舎 新学生ホール	講義室等	平成3年(1991)年	601	
国立病院機構校舎 本館	講義室、実習室、図書館等	平成10年(1998)年	4,951	
国立病院機構校舎 研究棟	研究室、演習室等	平成10年(1998)年	5,288	
国立病院機構校舎 第一別館	講義室等	昭和48(1973)年	1,487	
国立病院機構校舎 第二別館	講義室、研究室等	昭和52(1977)年	1,456	
国立病院機構校舎 演習実習棟	実験室、実習室等	昭和49(1974)年	2,948	

- [注] 1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。
 2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

(表25) 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m ²) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数 (B)	利用学生1人当 たり面積(m ²) (A/B)	備考
医療保健学部	講義室	8	818.3	専用	674	449	1.82	五反田キャンパス
		14	1405.2	専用	1,094	745	1.89	世田谷キャンパス
	演習室	10	358.5	専用	237	459	0.78	五反田キャンパス
		8	192.1	専用	80	745	0.26	世田谷キャンパス
学立東 部川が 看丘 護・	講義室	12	1489.3	専用	998	638	2.33	国立病院機構キャンパス
	演習室	7	262.4	専用	138	638	0.41	国立病院機構キャンパス
学医 研療 究保 健科	講義室	3	144.6	専用	83	60	2.41	五反田キャンパス
	自習室	14	295.7	専用	85	60	4.93	五反田キャンパス
研看 究護 科学	講義室	4	239.1	専用	103	66	3.62	国立病院機構キャンパス
	自習室	30	500.5	専用	94	66	7.58	国立病院機構キャンパス
共全 通学	体育館	1	659.8	共用				五反田キャンパス
		1	1000.1	共用				世田谷キャンパス
		1	551.5	共用				国立病院機構キャンパス

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。

3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。

4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。

5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に準じて記載してください。

6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。

7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数（短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む）で総面積を除いて算出してください。

(表26) 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 りの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
看護実習室Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	4	823.4	286	2.88	医療保健学部	
食品加工実習室	1	121.5	40	3.04	医療保健学部	
栄養教育実習室	1	94.5	40	2.36	医療保健学部	
臨床栄養実習室	1	121.5	40	3.04	医療保健学部	
調理実習室	1	162.0	40	4.05	医療保健学部	
給食経営管理実習室	1	125.5	40	3.14	医療保健学部	
生理学実験室	1	94.5	40	2.36	医療保健学部	
理化学実験室	1	121.5	40	3.04	医療保健学部	
情報実験室	1	112.0	56	2.00	医療保健学部	
基礎・在宅看護・助産実習室	2	412.1	150	2.75	東が丘・立川看護学部	
成人・老年・母性・小児 看護実習室	1	173.9	120	1.45	東が丘・立川看護学部	
NP演習室	1	105.1	20	5.26	看護学研究科	再掲
計	16	2467.5	912	2.71		

[注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。

2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。

3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。

4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。

5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。

6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「26 学部・研究科等ごとの講義室・演習室等の面積・規模」の講義室・演習室に含めても構いません。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。

(表27) 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
医療保健学部 看護学科	前期 後期	1 ~ 50	9	174	104	59.8	
		51 ~ 100	4		92	52.9	
		101 ~ 150	3		60	34.5	
		151 ~ 200	0		0	0.0	
		201 ~ 250	0		0	0.0	
計			16	174	256	147.1	

学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
医療保健学部 医療栄養学科	前期 後期	1 ~ 50	11	214	74	34.6	
		51 ~ 100	10		84	39.3	
		101 ~ 150	2		19	8.9	
		151 ~ 200	1		13	6.1	
		201 ~ 250	1		19	8.9	
計			25	214	209	97.7	

学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
医療保健学部 医療情報学科	前期 後期	1 ~ 50	9	181	26	14.4	
		51 ~ 100	9		79	43.6	
		101 ~ 150	2		57	31.5	
		151 ~ 200	1		30	16.6	
		201 ~ 250	1		29	16.0	
計			22	181	221	122.1	

学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
東が丘・立川 看護学部 看護学科	前期 後期	1 ~ 50	5	177	18	10.2	
		51 ~ 100	2		19	10.7	
		101 ~ 150	5		140	79.1	
		151 ~ 200	0		0	0.0	
		201 ~ 250	0		0	0.0	
計			12	177	177	100.0	

学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
医療保健学研究科 医療保健学専攻	前期 後期	1 ~ 50	2	44	20	45.5	
		51 ~ 100	5		22	50.0	
		101 ~ 150	2		2	4.5	
		151 ~ 200	0		0	0.0	
		201 ~ 250	0		0	0.0	
計			9	44	44	100.0	

学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
看護学研究科 看護学専攻	前期 後期	1 ~ 50	6	56	56	100.0	
		51 ~ 100	0		0	0.0	
		101 ~ 150	0		0	0.0	
		151 ~ 200	0		0	0.0	
		201 ~ 250	0		0	0.0	
計			6	56	56	100.0	

- [注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。
- 2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、(使用度数/開設総授業数)により算出してください。例えば、「英語 I」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。
- 3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

(表28) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2013年度	2014年度	2015年度	
附属世田谷図書館	47,992	36,874	279	122	1,377	1,778	1,767	1,487	1,561	
附属五反田図書館	19,240	17,307	194	76	1,301	0	1,308	1,364	1,001	附属五反田図書館は附属世田谷 図書館・附属東が丘図書館契約 分の電子ジャーナルを利用。
附属東が丘図書館	4,005	4,001	122	22	172	2,196	515	803	311	
計	71,237	58,182	595	220	2,850	3,974	3,590	3,654	2,873	

[注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。

2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。

3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。

4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

(表29) 図書館利用状況

図書館の名称	専任 スタッフ 数	非常勤 スタッフ 数	年間 開館 日数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸出冊数			備 考
					2013年度	2014年度	2015年度	2013年度	2014年度	2015年度	
附属世田谷 図書館	1 (1)	2 (2)	280	月～金 9:00～20:00	46,940人	43,492人	34,797人	5,460冊	4,404冊	3,450冊	
				土 9:00～17:00	()	()	()	教員 525	教員 467	教員 386	
				日祭日 :～:	()	()	()	職員 305	職員 191	職員 204	
				長期休暇中 9:00～17:00	()	()	()	学生 4,630	学生 3,746	学生 2,860	
附属五反田 図書館	1 (1)	3 (3)	276	月～金 9:00～20:00	30,657人	30,187人	25,139人	11,032冊	10,475冊	9,637冊	長期休暇中の開館 時間は9月第1・2 週 9:00～18:00 第3週以降9:00～ 20:00
				土 9:00～17:00	()	()	()	教員 1,267	教員 1,438	教員 1,155	
				日祭日 :～:	()	()	()	職員 164	職員 144	職員 106	
				長期休暇中 9:00～17:00	()	()	()	学生 9,601	学生 8,893	学生 8,376	
附属東が丘 図書館	1 (1)	2 (2)	270	月～金 9:00～20:00	37,075人	41,412人	37,375人	5,212冊	5,577冊	5,960冊	9月第1週及び第2週 の平日開館時間は 9:00～18:00。 9月全土曜日の開館 時間は13:00～ 17:00。
				土 9:00～17:00	()	()	()	教員 358	教員 394	教員 714	
				日祭日 :～:	()	()	()	職員 57	職員 74	職員 23	
				長期休暇中 9:00～17:00	()	()	()	学生 4,797	学生 5,109	学生 5,223	

[注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを()内に内数で記入してください。

2 年間利用者数・貸出冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含めないで、学生及び教職員の利用状況を記入してください。

3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。

4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸出冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、()内に記入してください。

(表30) 学生閲覧室等

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室の 座席数 ()	備 考
附属世田谷図書館	88	720	12.2	(0)	学部 720
附属五反田図書館	72	477	15.1	(0)	学部 400 助産学専攻科 15 大学院 62
附属東が丘図書館	37	766	4.8	(48 学習室)	東が丘・立川看護学部 700 大学院看護学研究科 66
計	197	1,963	10.0	(48 学習室)	

- [注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。
- 2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入。一般開放による地域住民等は含めないでください。
- 3 「備考」欄には学生収容定員（B）の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。

VII 管理運営・財務

(表31) 事務組織 (2016年5月1日現在)

	部署名	専任職員		常勤嘱託職員	兼務職員	派遣職員	その他	計
			うち管理職					
大学事務局	企画部	6	2	0	0	0	0	6
	教務部	4	1	1	0	3	1	9
	総務人事部	6	1	3	0	3	0	12
	経理財務部	5	1	0	0	1	0	6
	学生支援センター	9	2	2	0	0	0	11
	入試広報部	7	1	6	0	0	0	13
	研究協力等推進部	3	1	3	0	0	0	6
	東が丘・立川看護学部等事務部	11	1	0	0	2	0	13
	大学院事務室	6	1	0	0	1	0	7
	図書館事務室	2	0	1	0	3	0	6
合計		59	11	16	0	13	1	89

- [注] 1 それぞれの部署について、業務の内容から「法人業務系」と「大学業務系」に大別して記載してください。
- 2 「専任職員」欄には、期間の定めのない雇用で、常時勤務している職員数を、「常勤嘱託職員」欄には、期間の定めはあるが、専任職員に準じた雇用形態をとっている職員数を、「兼務職員」欄には、雇用期間が6カ月以上の兼務している職員数を、「派遣職員」欄には、労働者派遣契約を締結することにより受け入れている職員数をそれぞれ記入してください。なお、いずれにも該当しない職員には、「その他」欄に記入してください。
- 3 部長・次長など「課」に属さない職員は、「部」でまとめて記入してください。
- 4 部単位に「小計」、各系ごとに「計」を入れ、それぞれ集計してください。
- 5 「助手」は含めないでください。

V 財 務

(表32) 事業活動収支計算書関係比率・消費収支計算書関係比率 (法人全体) ※私立大学のみ

	比 率	算 式 (*100) ①	算 式 (*100) ②	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$	% 54.3	% 57.3	% 56.5	% 56.2	% 58.2	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	74.1	76.1	76.5	75.8	79.1	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	25.6	27.9	28.4	29.2	29.6	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	11.0	10.8	10.9	10.5	10.4	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{経 常 収 入}}$	0.8	0.8	0.7	0.7	0.8	
6	事 業 活 動 収 支 差 額 比 率 (帰 属 収 支 差 額 比 率)	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	8.3	2.9	3.4	3.3	1.6	
7	事 業 活 動 収 支 比 率 (消 費 支 出 比 率)	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{事 業 活 動 支 出}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	91.7	97.1	96.6	96.7	98.4	
8	基 本 金 組 入 後 収 支 比 率 (消 費 収 支 比 率)	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	$\frac{\text{事 業 活 動 支 出}}{\text{事 業 活 動 収 入} - \text{基 本 金 組 入 額}}$	109.0	112.1	131.2	114.3	109.7	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{経 常 収 入}}$	73.2	75.4	73.9	74.2	73.6	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	1.7	1.4	4.5	1.3	1.4	
11	経 常 寄 付 金 比 率	—————	$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 の 寄 付 金}}{\text{経 常 収 入}}$					1.4	
12	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	16.2	14.6	13.0	16.4	18.5	
13	経 常 補 助 金 比 率	—————	$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 の 補 助 金}}{\text{経 常 収 入}}$					17.9	
14	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	15.9	13.4	26.3	15.4	10.3	
15	減 価 償 却 額 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	$\frac{\text{減 価 償 却 額}}{\text{経 常 支 出}}$	7.5	7.9	9.0	9.1	9.3	
16	経 常 収 支 差 額 比 率	—————	$\frac{\text{経 常 収 支 差 額}}{\text{経 常 収 入}}$					1.0	
17	教 育 活 動 収 支 差 額 比 率	—————	$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 差 額}}{\text{教 育 活 動 収 入 計}}$					1.7	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の事業活動収支計算書・消費収支計算書 (法人全体のもの) を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 2014 (平成26) 年度以前については、算式①を用いて、2015 (平成27) 年度以後については、算式②を用いて、比率を算出してください。

3 日本私立学校振興・共済事業団に提出している数値を記載してください。

(表33) 事業活動収支計算書関係比率・消費収支計算書関係比率 (大学部門) ※私立大学のみ

	比 率	算 式 (*100) ①	算 式 (*100) ②	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$	% 52.8	% 56.1	% 55.3	% 55.4	% 57.7	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	67.1	69.2	69.8	70.0	73.2	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	28.4	30.9	31.3	31.8	31.7	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	10.3	10.0	10.4	9.5	10.1	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{経 常 収 入}}$	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	
6	事 業 活 動 収 支 差 額 比 率 (帰 属 収 支 差 額 比 率)	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	7.7	1.8	2.0	2.4	0.3	
7	事 業 活 動 収 支 比 率 (消 費 支 出 比 率)	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{事 業 活 動 支 出}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	92.3	98.2	98.0	97.6	99.7	
8	基 本 金 組 入 後 収 支 比 率 (消 費 収 支 比 率)	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	$\frac{\text{事 業 活 動 支 出}}{\text{事 業 活 動 収 入} - \text{基 本 金 組 入 額}}$	112.7	115.6	139.5	118.0	112.7	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{経 常 収 入}}$	78.7	81.2	79.3	79.2	78.8	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	1.8	1.6	5.1	1.4	1.5	
11	経 常 寄 付 金 比 率	—————	$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 の 寄 付 金}}{\text{経 常 収 入}}$					1.5	
12	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	11.9	10.2	8.8	13.0	14.5	
13	経 常 補 助 金 比 率	—————	$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 の 補 助 金}}{\text{経 常 収 入}}$					13.8	
14	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	18.1	15.1	29.7	17.3	11.6	
15	減 価 償 却 額 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	$\frac{\text{減 価 償 却 額}}{\text{経 常 支 出}}$	7.1	8.6	9.7	9.8	10.0	
16	経 常 収 支 差 額 比 率	—————	$\frac{\text{経 常 収 支 差 額}}{\text{経 常 収 入}}$					-0.4	
17	教 育 活 動 収 支 差 額 比 率	—————	$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 差 額}}{\text{教 育 活 動 収 入 計}}$					0.5	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の事業活動収支計算書・消費収支計算書 (大学単独のもの) を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 2014 (平成26) 年度以前については、算式①を用いて、2015 (平成27) 年度以後については、算式②を用いて、比率を算出してください。

3 日本私立学校振興・共済事業団に提出している数値を記載してください。

(表34) 貸借対照表関係比率 ※私立大学のみ

	比 率	算 式 (*100) ①	算 式 (*100) ②	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	% 85.7	% 87.3	% 85.7	% 88.7	% 88.5	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	14.3	12.7	14.3	11.3	11.5	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	17.8	19.3	17.7	16.7	16.9	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	11.4	11.6	13.9	12.9	12.5	
5	純資産構成比率 (自己資金構成比率)	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	70.8	69.1	68.3	70.4	70.5	
6	繰越収支差額構成比率 (消費収支差額構成比率)	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	-22.5	-25.7	-34.3	-40.0	-43.7	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	121.1	126.3	125.5	126.0	125.5	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	96.7	98.7	99.6	101.9	101.2	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	125.7	109.8	102.2	87.5	91.7	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	29.2	30.9	31.7	29.6	29.5	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	41.3	44.7	46.4	42.0	41.8	
12	前 受 金 保 有 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	177.4	161.2	146.2	119.4	120.7	
13	退職給与引当特定資産保有率 (退職給与引当預金率)	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
14	基 本 金 比 率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	87.0	85.5	88.8	89.9	94.7	
15	減 価 償 却 比 率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	31.2	32.6	36.3	39.5	31.7	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 「総資金」は総負債+基本金+消費収支差額を、「自己資金」は基本金+消費収支差額をあらわします。

3 2014(平成26)年度以前については、算式①を用いて、2015(平成27)年度以後については、算式②を用いて、比率を算出してください。

4 日本私立学校振興・共済事業団に提出している数値を記載してください。

VIII 内部質保証

(表35) 財政公開状況 (私立大学用)

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・ 紙	大学機関誌・ 紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 ()	開示請求があ れば対応する
教職員	資金収支計算書	○					○		○
	消費収支計算書	○					○		○
	貸借対照表	○					○		○
	財務状況に関する解説	○					○		○
	その他(監事監査報告書)						○		○
	その他(財産目録)						○		○
	その他(決算短信)		○						○
在学生	資金収支計算書	○					○		○
	消費収支計算書	○					○		○
	貸借対照表	○					○		○
	財務状況に関する解説	○					○		○
	その他(監事監査報告書)						○		○
	その他(財産目録)						○		○
	その他(決算短信)		○						○
卒業生	資金収支計算書	○					○		○
	消費収支計算書	○					○		○
	貸借対照表	○					○		○
	財務状況に関する解説	○					○		○
	その他(監事監査報告書)						○		○
	その他(財産目録)						○		○
	その他(決算短信)		○						○

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・ 紙	大学機関誌・ 紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 ()	開示請求があ れば対応する
保護者	資金収支計算書	○					○		○
	消費収支計算書	○					○		○
	貸借対照表	○					○		○
	財務状況に関する解説	○					○		○
	その他（監事監査報告書）						○		○
	その他（財産目録）						○		○
	その他（決算短信）		○						○
社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書	○					○		○
	消費収支計算書	○					○		○
	貸借対照表	○					○		○
	財務状況に関する解説	○					○		○
	その他（監事監査報告書）						○		○
	その他（財産目録）						○		○
	その他（決算短信）		○						○

- [注] 1 2014年度決算について2015年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄のうち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、監事監査報告書、財産目録、事業報告書等の具体名を記入してください。